

FD 情報交換会が開催されました

11月12日(金)に「FD情報交換会」が開催され、9名の教職員の方々にご参加いただきました。皆様から出された感想や意見の一部をご報告します。

趣旨：日頃の授業改善を進める中で疑問に思っていること、もっと知りたいこと、他の方に聞いてみたいことなど…教職員同士で情報交換を行う

日時：令和5年11月12日(金) 16:30~18:00

会場：1253、1254 教室(対面)

参加者：9名(本学教職員)

◆ 意見交換の内容

参加者の興味関心にそって情報交換を行いました。

以下のようなテーマがあがり、それぞれの工夫などを話し合いました。

- ① 要配慮の学生への対応
- ② 学生の欠席確認
- ③ Web Class の活用法
- ④ メモ取りの促し方
- ⑤ 事務局への要望

①と②に関して、こんな情報がありました(一部のみ紹介)

- ・退学や休学に関する情報をデータ化して、教職員で共有した方がよい。
- ・教員によってアドバイスの仕方が違うのも問題だし、カウンセリングしてもその後教員がどこまで携わっているのかわからない。
- ・特定の授業だけ欠席しているならまだしも、その他の授業でも欠席している可能性があるため、複数の授業で広く確認した方がよい。

③~⑤に関して、こんな情報がありました(一部のみ紹介)

- ・必修科目では最初の15分間を期限としてwebclassで出席確認しているが、後でリアクションペーパー(紙)を提出してもらうと人数が合わないことがある。
- ・普段からメモをとらない学生は、筆記試験に対応できないのではと心配になる。
- ・manaba以外のシステムを導入してほしい。検索機能が脆弱なうえ、データがあまりすぎて、必要な情報が入手できない。
- ・事務局の担当者がすぐ変わるし、名前の読み方や発音もわからない。担当者の氏名ではなく、席の場所で業務担当を覚えている。

◆ 情報交換会の感想

【参加者アンケートより】(抜粋)

- * 普段話す機会の少ない教員の皆さんの意見を聞くことができ、事務局職員として有益だった。
- * 今回は事務局長と事務職員 2 名が参加されていたので、非常によかったと思いました。教員と事務で連携が不可欠です。
- * 大学の今後の ICT 化をより効率的なものに発展できるように期待しています。現状で複数の学内システムでは、かなり仕事の効率が悪いように感じておりますし、学生も使いづらい部分があると思います。
- * 出席に関する各教員のポリシーや特別配慮を必要とする学生へのサポートなど、他の教員の経験を聞いて非常に参考になりました。
- * とても有益でした。要配慮の学生への対応について、今後も大学側がしっかり対応しないといけませんので、引き続き議論を行う必要があるかと思えます。
- * 対面だけでなく、オンラインでの参加も可能としてほしい。Zoom のブレイクアウトルームを使って、オンライン参加者同士で情報交換ができるとうい。